

県尼37会の仲間

追悼

平田忠彦さんを悼む 2021.3.13.



平田忠彦さん
令和3年2月ご逝去



追悼

シンポジウムや集会などで平田忠彦さんに会うことが多かった。尼崎出身という同郷の安心感もさることながら、篤実な人柄がにじみついて、篤実な人柄がにじみついて、願って迎えてくれたから、中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会の会長を務めていたが、昨年7月、脳出血で倒れ、先月死去した。77歳だった。

追想

原点的な尼崎を大切にしていた。2005年、クボタ旧神崎工場の内外で深刻な被害が発覚した。このクボタショックによって労働災害とされた石綿問題が公害として姿を現した。自身は同工場の間にあった旧郵政職員寮「角田寮」で育った。クボタが毒性の強い青石綿を使った時期と重なり、弟を含む6人が中皮腫で死去した。平田さんは肩を寄せ合うようにして暮らした昔の寮の仲間を訪ね、被害を語り起こした。

「この周辺被害は公害でなくて何なんだろう」。昨年6月、クボタショックから15年の集いで声を上げた。被害根絶に向かって全国の患者、家族が結束すべき状況が踏まえ、「当事者が声をあげない」と悲憤な公害がなかったことにされる。志を同じくするみなさん方とともに危険性を広く訴えていきたい。痛切なメッセージを託して旅立った。(加藤正文)

石綿被害者の会代表、平田忠彦さん

公害でなくて何なのか

クボタショック15年の集いに参加した中皮腫・アスベスト患者、患者と家族の会会長(当時)の平田忠彦さん(右)と被害者家族の平田千鶴さん(左)。2020年6月、尼崎市昭和通と市中小学校センター(撮影:中部 恵)

今朝の神戸新聞に県尼37会仲間 平田忠彦さん随想の記事をみつけ、びっくり。長年にわたり、石綿被害者の会の中心として石綿被害の恐ろしさと被害者救済の先頭に立ってこられた平田さん。我々仲間にも石綿被害の恐ろしさを風化させぬよう伝えるメッセージを37会のホームページにも発信したり、仲間の相談にも誠実に乗られるなど、精力的に活動されていました。でも37会・栄太郎の会ではいつもおだやかニコニコ顔で談笑される姿が頭に焼き付いています。本当にかげがえのない仲間 残念です。

今朝奥様にお悔やみのお電話し、「昨年7月 活動のメール発信・整理をされている中で、脳出血を起こされ、加療・療養長でしたが、この2月に旅立って行かれた」と。コロナ禍の中で誰にもお知らせできずですが、PCやスマホに県尼37会の名が幾つも残っていましたとお聞きました。コロナ禍で互いに連絡が取りあえない中で、仲間の旅立ちは本当につらいですが、旅立って行かれた平田忠彦さんを思ひつつ、ご冥福をお祈りします。

2021.3.13.県尼37会

昨年6月 県尼37会ホームページに掲載
平田忠彦さんが県尼仲間に残してくれたメッセージ

<https://www.infokkna.com/ama37kai/2021/R0303hiratamemorial.pdf>

平田忠彦さんからのメッセージ

【寄稿】「アスベストの真実を語った人びと」刊行の機に

6月19日(金)～21日(日)の3日間 AM10時～PM4時
尼崎労働文化センター2F キャラリーアルカイック

みなさん、こんにちは。平田忠彦です。今年も、中皮腫・アスベスト疾患、患者と家族の会(尼崎支部)主催で、「クボタショック」から15年目の忌日(6月19日)を期して、新刊『アスベストの真実を語った人びと』を刊行します。昨年7月、脳出血で倒れ、先月死去した。77歳だった。原点的な尼崎を大切にしていた。2005年、クボタ旧神崎工場の内外で深刻な被害が発覚した。このクボタショックによって労働災害とされた石綿問題が公害として姿を現した。自身は同工場の間にあった旧郵政職員寮「角田寮」で育った。クボタが毒性の強い青石綿を使った時期と重なり、弟を含む6人が中皮腫で死去した。平田さんは肩を寄せ合うようにして暮らした昔の寮の仲間を訪ね、被害を語り起こした。

「この周辺被害は公害でなくて何なんだろう」。昨年6月、クボタショックから15年の集いで声を上げた。被害根絶に向かって全国の患者、家族が結束すべき状況が踏まえ、「当事者が声をあげない」と悲憤な公害がなかったことにされる。志を同じくするみなさん方とともに危険性を広く訴えていきたい。痛切なメッセージを託して旅立った。(加藤正文)

クボタショックから15年

今年も、中皮腫・アスベスト疾患、患者と家族の会(尼崎支部)主催で、「クボタショック」から15年目の忌日(6月19日)を期して、新刊『アスベストの真実を語った人びと』を刊行します。昨年7月、脳出血で倒れ、先月死去した。77歳だった。原点的な尼崎を大切にしていた。2005年、クボタ旧神崎工場の内外で深刻な被害が発覚した。このクボタショックによって労働災害とされた石綿問題が公害として姿を現した。自身は同工場の間にあった旧郵政職員寮「角田寮」で育った。クボタが毒性の強い青石綿を使った時期と重なり、弟を含む6人が中皮腫で死去した。平田さんは肩を寄せ合うようにして暮らした昔の寮の仲間を訪ね、被害を語り起こした。

「この周辺被害は公害でなくて何なんだろう」。昨年6月、クボタショックから15年の集いで声を上げた。被害根絶に向かって全国の患者、家族が結束すべき状況が踏まえ、「当事者が声をあげない」と悲憤な公害がなかったことにされる。志を同じくするみなさん方とともに危険性を広く訴えていきたい。痛切なメッセージを託して旅立った。(加藤正文)

アスベスト被害の救済と根絶をめざす尼崎アピール行動

6月27日(土) PM1時～2時

併せて、6月27日「尼崎アピール行動」についてもよろしくお知らせします。
<https://www.7tablets.com/ama37kai/>

昨年6月 県尼37会ホームページに寄せられた
平田さんからのメッセージ

平田忠男さんからの

【写真展】「アスベストの真実を語った人びと」開催の案内 (無料)

6月19日(金)～21日(日)の3日間 AM10時～PM4時
尼崎市総合文化センター2F ギャラリーアルカイック

みなさん、こんにちは。平田忠男です。

今年も、中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会(尼崎支部)主催で、「クボタショック」から15年目の尼崎集会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、残念ながら延期せざるを得なくなりました。

そこで、6月19日(金)～21日(日)の3日間AM10時～PM4時尼崎市総合文化センター2F ギャラリーアルカイックにて(無料)【写真展】「アスベストの真実を語った人びと」を開催します。尼崎市内在住の方は、お時間あれば、どうぞ、覗いてみてください。

県尼はクボタ旧神崎工場から1.5キロの範囲内にあり、工場で石綿管を製造していた昭和29年～50年に通学していた生徒は、誰か中皮腫を発症してもおかしくはありません。現に、残念ながら、37会のメンバーにも被害者が出ています。各学年を合わせた同窓生や、さらにその家族、親戚、知人を足せば、クボタ旧神崎工場からの石綿曝露による石綿健康被害者は数十人、あるいは三桁に及んでいるかも。これからは、高度経済成長時代に建てられた石綿含有ビルの解体工事が、2020年代にピークを迎えます。

法制度の不備や建設関係者、各自治体の認識不足などから全国的に石綿の飛散が懸念されているのが現状です。石綿曝露から約20年～50年を経て発症するとされる中皮腫、それ以外にも石綿が原因の肺がんは、その2倍以上の確率で出現すると専門家は警鐘を鳴らしています。

中皮腫被害者は、ここ数年、毎年1500人を超え、更に増加すると予想されています。80歳を超えて発症するケースも珍しくありません。私達も後期高齢者になりましたが、まだまだ元気でいたいものです。

ぜひ、みなさん、年一回のアスベスト検診を、また肺がん検診の折りには、石綿工場の近くに住んでいたと問診票に記入してください。医師の診断に大いに参考になります。尼崎市内在住の方は、お時間あれば、どうぞ、会場を覗いてみてください。

長くなって恐縮ですが、コロナ禍の1日も早い収束を願いつつ、毎年の37会でみなさんとお逢いできることを楽しみにしている平田からのみなさんへのご案内です。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

クボタショックから15年

2005年(平成17年)6月に「クボタショック」がありました。多くの人たちが、アスベスト(石綿)による肺がん・中皮腫が全国で流行していることを知って驚愕しました。それから15年、毎年2000人以上の肺がん・中皮腫が新たに発生し、被害は拡大し続けています。残念ながら、事態はいよいよ深刻化しています。

写真展 尼崎市総合文化センター 2F ギャラリーアルカイック **無料**

アスベストの真実を語った人びと

6月19日(金)～21日(日) AM10時～PM4時

尼崎市総合文化センター 2F ギャラリーアルカイック

〒650-0802 尼崎市南港中道下 2-1-1 TEL: FAX 06(4350)6673 Eメール: info@w7b.biglobe.ne.jp

「クボタショック」から15年

アスベスト被害者の救済と根絶をめざす尼崎アピール行動

6月27日(土) PM1時～2時

- ・尼崎市の石綿問題への取組み (稲村和美市長)
- ・クボタ周辺被害の状況 (尼崎安全センター)
- ・患者と家族からの訴え - 歌「空をゆくツバメ」
- ・クボタショックから15年 (村山武彦 東工大院教授)

★当日はアピールの様子を会場からインターネットで生中継します。ぜひご覧ください！
尼崎労働者安全衛生センターのホームページから、配信チャンネルにアクセスできます。または、パソコンやスマホからYoutubeにアクセスし「クボタショック15年」で検索してください。(配信された動画は後日見ることできます。尼崎労働者安全衛生センターのホームページをご覧ください。)

ホームページ <http://www.7b.biglobe.ne.jp/~amasafe/html/> QRコード

併せて、6月27日「尼崎アピール行動」についてもよろしくお願い致します。
<http://www.7b.biglobe.ne.jp/~amasafe/html/>



2019年3月7日 県尼37会で

【仲間からの追悼メッセージ】

◎2021.3.15. 秦野市 近田明子さん

平田さんがお亡くなりになったとのことなんといいていかわかりません。
高校時代は全然接点がなく同窓会で会えるようになってからの知り合いです。
同窓会ではいつもここにこにこしていらっやって私もクボタの範囲にはいつているからと、いろいろ説明していただき資料も頂戴しました。
同窓会の3次会のカラオケではいつも素敵な声を聴かせてくれました。
今でもあの優しいにこにこした笑顔が目には浮かびます。
神戸新聞に平田さんの記事が載ったそうですが、立派な人生でしたね。ご冥福をお祈りします。

◎2021.3.15. 神戸市 大崎秀貴さん

この報に驚きと寂しさを禁じえません。
県尼37会に初めて参加した時、昔ながらの友人のように親しく接して頂き、そのとき彼が何らかの理由で卒業が38年になったけれど、幹事をお願いして入会させて頂いたとお聞きました。お付き合いは短かく詳しく知りませんでしたけれど、好人物でした。
最近になって彼が彼の弟様を含む石綿肺癌者の救済に先頭に立って尽力されたことを知りました。心残りであったと察しますが、充実された人生であったろうと思います。合掌

◎西宮市 米田泰造さん

残念ですね また一人同期が減りましたね

◎尼崎市 福田敬子さん

残念、至極、色々皆さんのお世話して他、優しく、穏やかな人でした、御冥福を、祈ります??

◎神戸市 阪本忠彦さん

ほんこの間 元気に会話した記憶しかないので ビックリ驚きました、、合掌

◎大阪市 志水健一さん

平田さんの訃報に驚いています。ご冥福をお祈りしています

平田忠男さん

こ沢山のおもいで ありがとう

: 2021.3月 県尼37会

